

2023年度(第33期)  
貸借対照表・損益計算書

岡山県備前市久々井字沖1775番地の1  
**岡山大鵬薬品株式会社**  
代表取締役社長 片山 峰伸

貸借対照表

(2023年12月31日 現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>7,742,698</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,387,178</b>
現金及び預金	2,363,230	買掛金	2,177,655
売掛金	3,022,351	未払金	1,055,605
製品	241,554	預り金	19,850
仕掛品	7,434	賞与引当金	33,986
原材料及び貯蔵品	440,777	その他	100,080
その他	1,667,349		
<b>固定資産</b>	<b>4,606,767</b>	<b>固定負債</b>	<b>10,566</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,080,361</b>	役員退職慰労引当金	10,566
建物	2,164,009		
構築物	128,998		
機械及び装置	641,544		
車両運搬具	2,208		
建設仮勘定	167,836		
工具器具及び備品	79,490		
土地	896,272		
<b>無形固定資産</b>	<b>16,775</b>		
ソフトウェア	13,809		
電話加入権	1,336		
水道施設利用権	1,629		
<b>投資その他の資産</b>	<b>509,631</b>		
投資有価証券	8,622		
繰延税金資産	448,919		
差入保証金	2,988		
その他	49,100		
<b>資産合計</b>	<b>12,349,465</b>	<b>負債合計</b>	<b>3,397,745</b>
		<b>純資産の部</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>8,952,570</b>
		資本金	50,000
		利益剰余金	8,902,570
		利益準備金	12,500
		その他利益剰余金	8,890,070
		別途積立金	5,000,000
		研究開発積立金	3,580,000
		繰越利益剰余金	310,070
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>△ 850</b>
		その他有価証券評価差額金	△ 850
		<b>純資産合計</b>	<b>8,951,720</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>12,349,465</b>

# 損益計算書

(自2023年1月1日 至2023年12月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		10,273,228
売上原価		5,885,405
売上総利益		4,387,823
販売費及び一般管理費		3,872,517
営業利益		515,306
営業外収益		
受取利息及び配当金	844	
受取賃貸料	57,079	
その他	5,198	63,122
営業外費用		
為替差損	102,993	
その他	46	103,040
経常利益		475,388
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別損失		
固定資産廃棄損	82	82
税引前当期純利益		475,306
法人税、住民税及び事業税	99,810	
法人税等調整額	70,440	170,251
当期純利益		305,054

記載事項は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

其他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの:

事業年度末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等:

移動平均法による原価法

#### ② たな卸資産の評価基準及び評価方法

A) 商品、製品、仕掛品、原材料:

総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

B) 貯蔵品:

先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 2~50年

機械及び装置 1~13年

工具器具及び備品 2~15年

#### ② 無形固定資産

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間

(研究開発用のものは3年、その他のものは5年)に基づく定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ① 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

#### ② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、過去勤務債務については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、按分した額を費用処理しております。数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

#### ③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

### (4) 収益及び費用の計上基準

当社は、以下の5ステップを適用することにより収益を認識しております。

ステップ1: 顧客との契約を識別する

ステップ2: 契約における履行義務を識別する

ステップ3: 取引価格を算定する

ステップ4: 取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5: 履行義務を充足時に(または充足するにつれて)収益を認識する

企業の主要な事業における主な履行義務の内容及びその充足する通常の時点については、「6.収益認識に関する注記」に記載しております。

### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

#### ① グループ通算制度の適用

当社は最終親会社である大塚ホールディングス株式会社を通算親法人としたグループ通算制度を適用しております。

#### ② 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## 2. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 8,951.72円

(2) 1株当たり当期純利益 305.05円